八幡浜新聞

発行所
八幡浜市昭和通
八幡浜新聞社
TEL22-0447／FAX22-1032
編集印刷発行人
松井一浩
（1カ月1,200円（税込））

結婚式は マリエール大洲
お葬儀は セレモニーライフ八幡浜
がお手伝い致します
八幡浜市松柏・☎0120-24-6111

# 託児所、公園環境など提言

## 子育てしやすいまちづくりを―初の子育てママ「意見交換会」

八幡浜市は24日、沖新田の市魚市場多目的室で、初の子育てママ意見交換会「秋の夜長に親子でワークショップ」を開き、約30人が子育て経験をもとに、子育てしやすいまちづくりや少子化対策などについて意見を出し合った。

地域の課題は地域と協働で解決しながら育児負担や不安を減らすことで、第2・第3子を産みたいと思える地域、子育てにあたたかいまちづくりを目指す「子育て応援ポスト事業」の一環として開催したもの。意見交換を前に大城市長は「悩みごとを拾い上げる子育て応援ポストや意見交換を通して、子育てに対して前向きに取り組むことができる状況をつくりたい」と理解と協力を求めた。

「子育てして良かったこと」「子育てして困ったこと」をテーマにしたグループワークでは、「子育てを通して多くの人と知り合えた」「子ども医療費が無料」など良かったことや、「遊ぶ場所がない」「一時保育を快く受け入れてもらえなかった」「公園の駐車場が少ない」など困った体験について、活発に声が上がった。

子育てしやすいまちにするための改善策では「公園のトイレは和式が多い。小さい子どもはまたいで座れない」「北浜公園の風紀が良くない。ハトに餌を与えるのを止めさせ、テーブルを撤去するなどしてほしい」という指摘のほか、「大島に橋を架け、リゾート化してほしい。海がきれいで、とても良い環境」と意見も上がった。

一時預かりの施策については「病気の子どもを預かってくれるところがない」「安心して預けることができる子ども好きのボランティアを募集してほしい」「ファミリーサポーター制度を導入してはどうか」「託児所を一か所にまとめては」などの課題や提案があった。

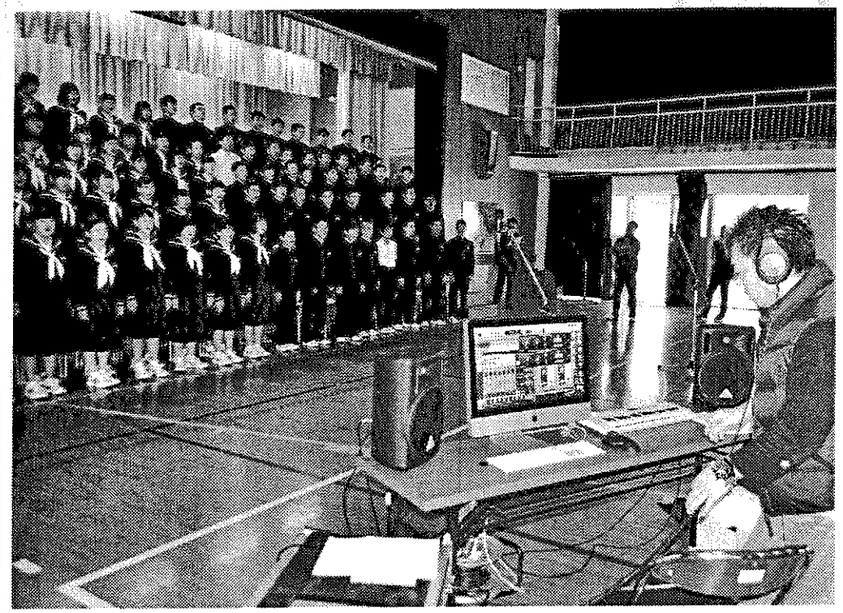
また、「図書館で子どもが騒ぐので長居できない」という状況に、「幼児専用の部屋をつくってほしい」と求め、縦割り行政の影響で子育て関連の事業や情報が〝ばらばら〟と示し、「垣根を越えて一元化しはどうか」と提言。

事務局の社会福祉課は「実施可能な施策は関係機関と連携しながら取り組みたい。きょういただいた要望の中には、来年には形になる予定のものもある」と話していた。

（写真―「秋の夜長に親子でワークショップ」の参加者が活発に意見を出し合ったグループワーク）

# 青石中校歌 全校生徒歌声収録 CDに

## 閉校記念誌に添え アレンジバージョンも 夏目一朗さん編曲



歌い継いできた校歌を残そうと、今年度末に保内中との統合で閉校する八幡浜市青石中（元田親平校長、88人）は24日、校歌のCDを閉校記念品にするため全校生徒が体育館に集まり、歌声を収録した。

昭和40年につくられた同校の校歌は、井上淳一氏が作詞、当時の職員が曲を合作したという。

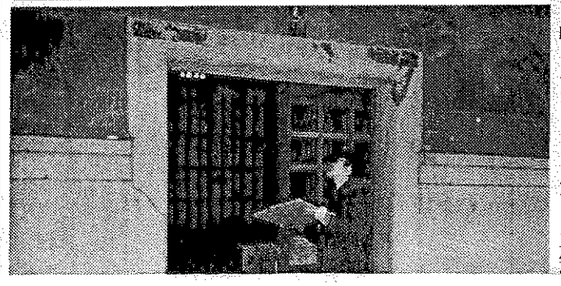
この日、レコーディングとアレンジを買って出た松山市出身の音楽プロデューサー、夏目一朗さん（53）が同校を訪れ、「上手く歌おうとしないで、失敗してもいいから元気いっぱい歌おう」と呼びかけ、ジョークで生徒たちの緊張をほぐしながら歌声を収録した。

夏目さんは、南こうせつさんや松山千春さんらのライブ、レコーディングに参加しており、現在はプロデュース、アレンジ、サポートを中心に幅広く活動。FM愛媛で日曜日に放送している音楽バラエティー番組にも出演している。

レコーディングは、校歌、アイドルグループ嵐の合唱曲「ふるさと」に続いて、夏目さんによる校歌アレンジバージョンのための素材として、生徒7人のソロやコーラスなども収録。「ウィ・アー・ザ・ワールドのような雰囲気にアレンジして、一つの記録として、楽しめる校歌も残すことで閉校に花を添えられればと考えている」と話す。

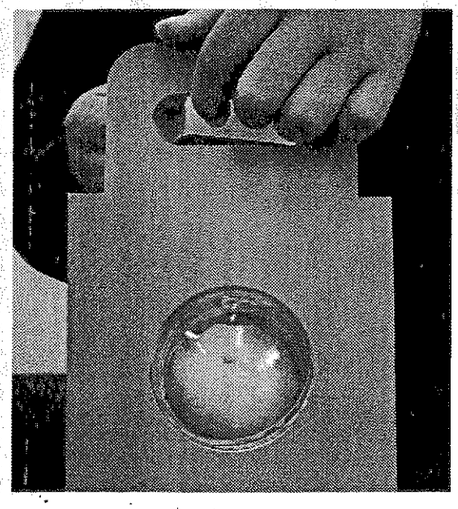
校歌のCDは1500枚製作する予定で、閉校記念誌に添えて配布する。

（写真―編曲家の夏目さんがレコーディングに訪れ、校歌を収録する生徒たち）



# ミカン1個パッケージお目見え

## クリスマスオレンジ普及へ



ミカンを大切な人にプレゼントしてクリスマスシーズンの到来を告げるカナダの風物詩を、八幡浜市から発信しているクリスマスオレンジ実行委員会（西川久美委員長）は、12月23日に開催するイベントを前に、「オリジナルパッケージ」を作り、23日にみなと交流館でお披露目した。

パッケージはプラスチック素材で、ミカン1個が入るようデザインされたもの。クリスマスオレンジの普及～定着とともに、メッセージカードを入れてミカンをプレゼントしやすくした。

また、パッケージ完成を記念して、26日から年内いっぱい「2016フォトコンテスト」を実施。パッケージを入れた写真を撮り、インターネット上のアプグラム」マスオレシュタグすると、ら抽選で産のミカ

# 八幡浜米穀倉庫 農業遺産として実測調査

## 工学院大学 院生ら



米倉庫を農業遺産として調査している工学院大学建築学部＝東京都＝の学生らが24日、八幡浜市を訪れ、昭和通の八幡浜米穀米倉庫を実測調査した。

県近代化遺産調査に関わった二村悟教授に学ぶ院生2人で、案内役の近代化遺産活用アドバイザーの岡崎直司さんとともに、伊予市中山町佐礼谷の米倉庫に続いて調査に入った。

二村教授は、全国に残る第1次産業遺産の記録調査をしており、岡崎さんによると、か